

第2回専門部会(9月12日開催)における委員意見

■目的

- 目的規定において、子供の権利を盛り込むべき。

■責務(体罰禁止)

- 「子供の健やかな成長を阻害する身体的又は精神的苦痛を与えることの禁止」という文言は、体罰について、苦痛を与えないような叩き方ならば大丈夫と捉えられる危惧が懸念される。また、暴言についても、子供が苦痛を感じていることに共感性の乏しい保護者もいることが考慮されていない表記になっているおそれがある。
- 自身が体罰を受けて育った保護者はとりわけ戸惑いをもつ可能性がある。体罰や暴言を用いない養育方法についての支援に関し規定することが必要。
- 「子供の健やかな成長を阻害する身体的又は精神的苦痛を与えることの禁止」という文言は、何が体罰・暴言かという議論よりも、(成長にとっていけないという)子供からの視点で記されていることの良さはある。一方で、現に学校教育法で体罰は禁止と明記されていることを踏まえ、はっきり体罰という文言を使うという考え方もある。
- 国連の子供権利委員会の一般意見では「体罰及びその他の残虐な又は品位を傷つける形態の罰」から子供は保護されなければならないと明記している。しつけ、罰として行われているその文化に焦点を当て、そこから脱却すべきことを明確にすることが必要。
- 日本語としての「体罰」には伝統的な価値観があり、親の意識によって言葉が一人歩きするおそれがある。体罰に頼らない、日常的な養育方法の継承が必要。
- 暴言という文言を盛り込むかは、さらに慎重な検討が必要。つい激高した家族が相当の批判にさらされるなど、子育てが委縮するおそれがある。
- 暴言という文言は、法律や条例で、見慣れない。
- 体罰を規定するならば、エスカレートする危険性があり、ストッパーが必要という観点からは、暴言も規定しても良いのではないか。

■普及啓発、健診

- 子供自身への普及啓発により、虐待を受けず、または体罰を受けず育つべきであることを、自ら認識できることが必要。その普及啓発の場は、条例の規定では、「地域社会において」など、学校に限らず、塾や児童館や子供の居場所など、幅広く対応するものとすべき。
- 都内の団体には、塾やスポーツクラブなど幅広く含まれることを、何らかの例示を挙げて規定するとともに、PRしていくことが必要。
- 健診受診について、子供の健康と安全を確実に確認するためという趣旨を明記

■ 通告しやすい環境づくり

- 通告は、子供の安全確保、虐待防止だけでなく、当該家庭の子育ての大変さが発覚し、リスクの高い保護者への支援が始まる契機となるものでもある。その趣旨を盛り込むと良い。
- 虐待を受けている子供は、SOSを発した場合に、自分がその後どうなるのかわからない。また、通告者も、どこに通告すべきかわからなかったり、通告した後に厄介に巻き込まれてしまわないか、子供がどうなるかなどの不安があって、通告をためらってしまう。通告によって子供が守られ、通告者も困ることがないことを周知することが必要。

■ 連携・情報共有

- 児童相談所が子供家庭支援センターを「後方支援」という表現は、子供家庭支援センターの現場感覚からすると児童相談所は何もしないのが後方支援という印象を与え、避けるべき。
- 後方支援という考え方は、平成16年度の児福法改正で示されたが、その後189の導入の影響など、やや流動的なものとも考えられる。連携・協働関係の重要性を規定するのか、明確な役割分担まで規定するのか、微妙なところがある。
- 児童相談所と子供家庭支援センターが車の両輪であることを、うまく条文で表現できるとよい。
- 児童相談所と子供家庭支援センターの役割分担を明記し、境目の事案が埋もれてしまわないよう、うまく伝わる表現が必要。
- 法改正の趣旨を踏まえ、母子保健との連携も盛り込めると良い。

■ 社会的養護

- 施設退所者等へのアフターケアについて盛り込むべき。また、家庭的養護という言葉について、東京都では、里親等と施設のグループホームを含めたものとなっている。里親養育の推進と明記していくべき。推進のための里親支援は、支援者支援の必要性とも合致する。
- 支援者の支援の主体はだれなのか、東京都か、施設長なのか、場面によっても変わってくるため、規定に落としにくい面はあるが、監護養育する人たちも支えるというメッセージを規定上も明らかにする考え方、一方で、虐待を受けた子供、社会的養護のもとで育った子供を支援することを明確にすれば、その中に支援者の支援も含まれるという考え方ができる。
- 虐待法の4条で、国や地方公共団体が民間団体の支援に努めることが規定されている。また、平成28年の児福法改正では里親支援の業務が明記された。それらについて、改めて都として、力をいれていくことを明記することはできるはず。